

愛知県震度観測・調査報告書―第45報―の概要

1 調査の概要と目的

この調査は、地震動の伝わり方や地域特性を明らかにするため、県内全市町村に設置している計測震度計による震度情報ネットワークの震度観測データ等を活用して、2025年1月～2025年12月に発生した地震と震度に関する情報をまとめるもので、防災対策の基礎資料、県民の地震に対する理解を深めるために活用されることを目的として報告書を作成している。昭和56年より1冊／年で発行しており、本書で45冊目となる。トピックスとして、「2025年カムチャツカ半島付近の地震の特徴とその防災上の意味」、「2025年青森県東方沖地震で初めて発表された『北海道・三陸沖後発地震注意情報』」についての解説を掲載した。

2 愛知県震度観測・調査報告書―第45報―の概要

(1) トピックス

- ・2025年カムチャツカ半島付近の地震の特徴とその防災上の意味

2025年7月30日に発生したカムチャツカ半島付近の地震について、地震学的な特徴を踏まえて解説するとともに、防災上の課題を説明している。

- ・2025年青森県東方沖地震で初めて発表された「北海道・三陸沖後発地震注意情報」

2025年12月8日に発生した青森県東方沖の地震について、地震学的な特徴を踏まえて解説するとともに、運用開始以降初めて発表された「北海道・三陸沖後発地震注意情報」について説明している。

(2) 震度観測資料

ア 愛知県における地震

2025年に、県内のいずれかの市町村で震度1以上が観測された地震の発生は27回であり、震度4以上が観測された地震の発生はなかった。

イ 国内の主要な地震

2025年に、国内で被害を伴った地震の発生は6回であった。

ウ 世界の地震

2025年に、世界で人的被害を伴った地震の発生は29回であり、死者が100名を超える海外の地震の発生は3回であった。

3 調査研究成果の活用

調査報告書は、防災会議に報告するとともに、防災関係機関、市町村に配付し、地震防災対策の基礎資料として活用する。

また、県図書館、県民相談・情報センター等に配付し、県民に地震についての理解を深めてもらう。